

目標達成計画

作成日: 平成 28年 3月 16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	新人スタッフは、施設の基本理念の理解がまだまだ不十分な点があると考え。また、中堅やベテランスタッフも、基本理念はチームで目指すべきものということを時々忘れがちになることもある。事業所全体で、理念を理解し同じ目標でケアを継続して行っていく必要性を感じる。	スタッフ全員が理念の重要性をチームで意識することで、よりよいケアの統一に繋がりを、認知症の人の思いに沿ったケアができるようになる。	全体ミーティングやカンファレンスでの勉強会、また新人研修や外部研修等に参加し、定期的に理念については再確認、振り返る機会を作る。ひとりが学ぶだけでなく、チームで同じ目標や同じ方向でケアができるよう取り組んでいく。	24ヶ月
2	2	火災時の避難計画はなされているが、台風や大雪等の災害時の避難計画等が明確ではない。年2回の総合避難訓練の中に、水害。地震・台風・大雪の訓練が盛り込まれていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・火災訓練をはじめ、地震・台風・水害・大雪等の災害訓練も視野に入れ、避難方法の確認や訓練を消防署や地域住民の力を借りながら年1回は行う ・地域の避難場所として備蓄の見直しを図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・火災、災害訓練の活動計画の中に、水害・地震・台風・大雪時を想定して訓練を取り入れる。 ・食糧備蓄に関しては、保管場所や内容をスタッフ全員が把握できるよう、ミーティングなどで再確認する。 	24ヶ月